

平成 29 年度

まいづる中学生
まちづくり議会
報告書



舞鶴市教育委員会



平成29年8月27日
まいづる中学生まちづくり議会
舞鶴市議会議場

目次

■ 日程表	1
質問者及び質問要旨	2
■ 座席図	3
■ 開会にあたって	
➤ 舞鶴市長 あいさつ	4
➤ 舞鶴市議会議長 あいさつ	5
■ 質問・答弁（質問順に掲載）	
➤ 城南中学校	6
➤ 白糸中学校	10
➤ 青葉中学校	15
➤ 若浦中学校	19
➤ 加佐中学校	25
➤ 城北中学校	30
➤ 和田中学校	35
■ 閉会にあたって	
➤ 舞鶴市教育委員会教育長 あいさつ	39
■ 表彰式（最優秀提案賞）	40
■ 感想文（題名：まいづる中学生まちづくり議会に参加して）	
➤ 青葉中学校	41
➤ 白糸中学校	42
➤ 和田中学校	44
➤ 城南中学校	46
➤ 城北中学校	47
➤ 若浦中学校	49
➤ 加佐中学校	50
■ 取組の記録（事前学習会・本会議）	
➤ 開催経過	52
➤ 写真	53

まいづる中学生まちづくり議会 日程表

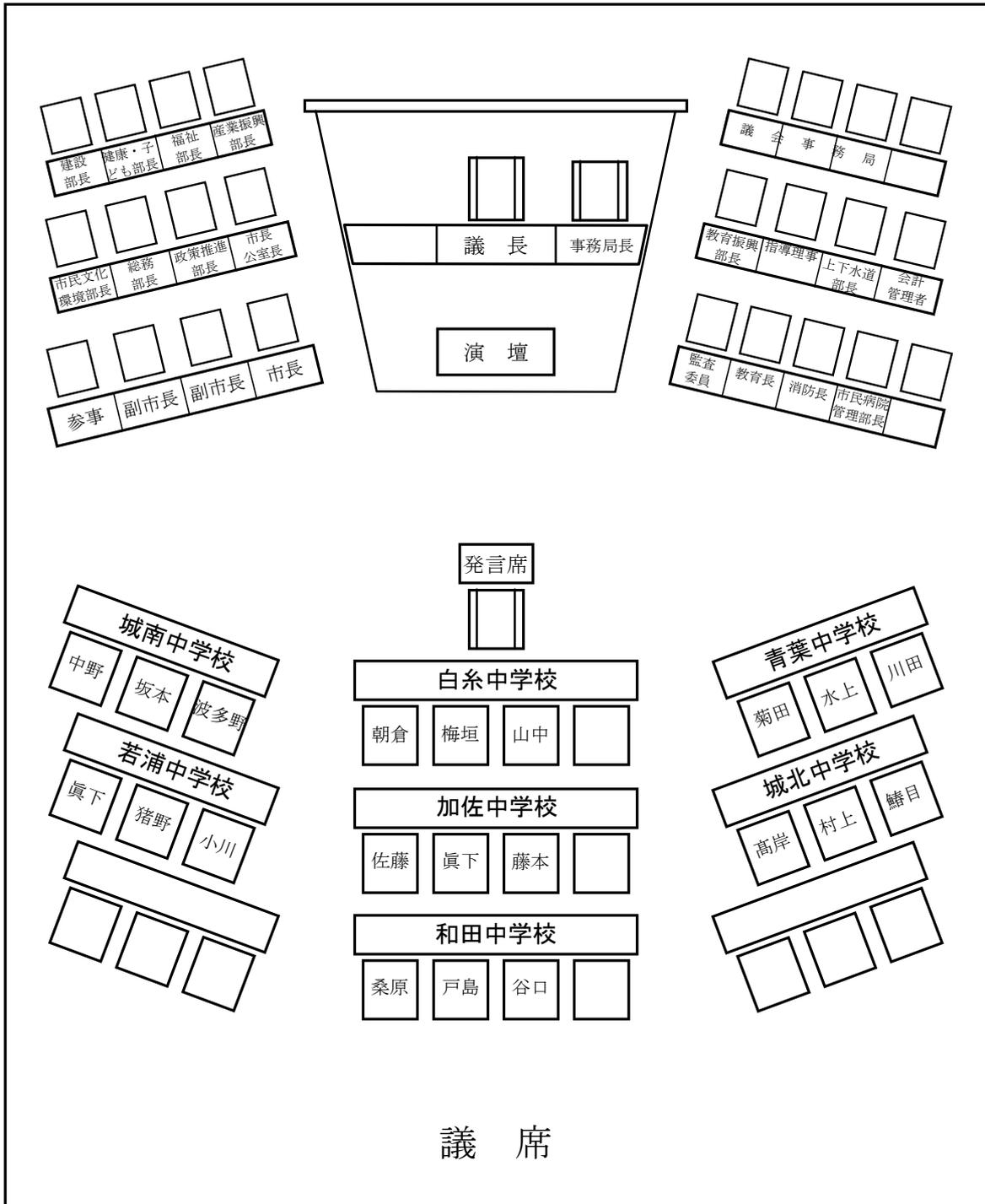
日時 平成 29 年 8 月 27 日（日）
午前 10 時～
場所 舞鶴市議会議場

- 1 開会宣言（上野修身議長）
- 2 開会あいさつ（多々見良三市長）
- 3 質疑応答（各中学生議員）
- 4 閉会あいさつ（佐藤裕之教育長）
- 5 閉会宣言（議長）
- 6 表彰（市長）
- 7 記念撮影

質問者及び質問要旨

中学校	質問者	質問テーマ	質問要旨
城南	中野 彩菜	商店街の活性化	空き店舗の解消による地域交流の促進について
	坂本 奈々美		空き店舗の解消による地域の活性化について
	波多野 悦至		商店街への交通手段の整備について
白糸	朝倉 壮哉	防災対策	大雨・洪水被害について
	梅垣 菜々美 塩見 華音		原子力災害への対策について
	山中 眞凜		地震災害への対策について
青葉	川田 ひかる	買い物を通した まちづくり	東地区への新たな道の駅の整備について
	水上 知美		舞鶴の特産品販売店の都会への出店について
	菊田 こころ		空き店舗を活用した出張店舗について
若浦	眞下 葵	市の情報発信	舞鶴の情報・魅力を広げることについて
	猪野 晃市郎		市の働く場所の発信について
	小川 真未		自分たちが住んでいる校区の特色を伝えること について
加佐	佐藤 夏音	加佐の魅力発信	加佐地区の行事の活性化について
	眞下 陸仁		加佐のお茶の魅力の発信について
	藤本 悠大		加佐へのUターン、Iターンについて
城北	鯖目 貴公	暮らし、 まちづくり	歴史的建造物の公表について
	村上 幹汰		みんなが集える施設の整備について
	高岸 優進		中学校の部活動の充実について
和田	桑原 美希	観光振興	外国人向けの体験ツアーの開催について
	戸島 日和		歴史に関する施設の活用について
	谷口 楓果		SNSを使った舞鶴の食べ物のPRについて

座席図



皆さん、おはようございます。舞鶴市長の多々見良三です。

本日は、市立中学校7校から21人の中学生議員の皆さんにご参加いただき、「まいづる中学生まちづくり議会」を開催することとなりました。

中学生の皆さんが議員となって開催するこのまちづくり議会は、将来を担う若い世代の皆さんに、ふるさと舞鶴への愛着と誇りを持っていただくとともに、当事者意識を持って、よりよい舞鶴について考えてもらう機会とするために開催するものです。また、市政について考えることを通じて、市の取り組みや議会に対する理解を深めてもらうことにも期待しているところであります。

私は、1学期の間に市内の全中学校をまわって、ここにおられる中学生議員の皆さんをはじめとする中学2年生を対象に、夢や志を持つことの大切さや、舞鶴の魅力を知ってもらうための「ふるさと舞鶴講義」を行ってまいりました。

この講義をきっかけとして、皆さんにふるさと舞鶴の良さを知っていただくとともに、舞鶴市の将来について考え、地域や社会の役に立ちたいという「志」を持ってほしいと思っており、そうした中で、本日の「まちづくり議会」を開催することができましたことを大変嬉しく思っています。

本日の会場である、この市議会議場は、市民から選挙で選ばれた市議会議員の皆さんが、市政の方針や市民からいただいた税金の使い道などを審議・決定したり、また、市政が適正に行われているかをチェックしたりする場です。いわゆる住民自治の根幹とも言える場所であり、市議会議員の皆さんは、それぞれ住民の意思を反映し、本市の発展のためにご尽力いただいております。中学生の皆さんにも、こうした経験を通して、将来、ふるさと舞鶴の更なる発展のために貢献する人材となっていただきたいと思っております。

本日のまちづくり議会のために、中学生議員の皆さんには、この舞鶴をより良いまちにするための質問や提案を真剣に考えていただきました。私も皆さんの質問や提案をしっかりと聞きし、丁寧に、真摯に答弁し、出来ることは実現していきたいと思っております。後になりましたが、中学生まちづくり議会を開催するにあたり、上野修身市議会議長をはじめ、保護者の皆様、関係者の皆様のご協力に、お礼を申し上げますとともに、参加いただきました中学生議員の皆さんにとって、この取り組みが貴重な経験になりますことを祈念し、開会にあたっての挨拶いたします。

皆さん、おはようございます。

私は、舞鶴市議会議長の上野修身でございます。

「まいづる中学生まちづくり議会」の開催に当たりまして、高いところから座ったままで恐縮ではございますが、議会を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

市内7中学校を代表する中学生議員の皆さん、また、傍聴にいらしていただいております、保護者の皆様方、関係者の皆さん、本日は、舞鶴市議会によるこそ、お越しくございました。心より歓迎申し上げます。

さて、中学生議員の皆さん、本日は、本来の議会を体験いただくために、私が、通常の議会での議事の進行と同じように、議事を進めてまいります。

今、皆さんがいらっしゃいますこの議場は、舞鶴市民の皆さんに選ばれた舞鶴市議会議員が集まり、市民の皆さんの暮らしに関する大切なことなどについて真剣に審議し、決定する場所でございます。

このため、議会といたしましても、この議場において、本日、「中学生まちづくり議会」が開催され、皆さんから、よりよいまちづくりを進めるための真摯で率直な質問をいただくことを誠に光栄と感じておりますとともに、今後、より一層、市政や議会に対する関心を高めていただけるようになることを期待しているところでございます。

本日の議会を通じて、将来、ふるさと舞鶴のために積極的にかかわり、頑張りたいと思う人が数多く、あらわれますことをお祈りいたしまして、簡単ではありますが、議会からの挨拶とさせていただきます。

質問・答弁

(議会当日の質問順に掲載)

学校名 ・ 学年

城南中学校 2年

質問テーマ

商店街の活性化

議員氏名 ・ 質問要旨

- 中野 彩菜・・・空き店舗の解消による地域交流の促進について
- 坂本 奈々美・・・空き店舗の解消による地域の活性化について
- 波多野 悦至・・・商店街への交通手段の整備について

質 問

➤ 質問要旨「空き店舗の解消による地域交流の促進について」 中野 彩菜

私は、城南中学校の中野彩菜と申します。

城南中学校では、商店街の活性化をテーマに提案します。

まず1点目ですが、商店街の空き店舗の解消による地域交流の促進について提案します。

私は、舞鶴は商店街の空き店舗が多く、地域の人との交流が少ないという課題があると思います。

そこで、空き店舗を減らし、商店街を地域の人と触れ合える場にすれば、今までより交流が増えると思います。西地区にあるサンモールマナイは、訪れる人が少なく年代層も薄いです。なので、どの年代の方でも気軽に訪れることのできる、にぎやかな商店街にしたいです。

例えば、今シャッターが閉まっている店舗の一部をふるさと教室にすればいいと思います。ふるさと教室とは、舞鶴に住んでいる高齢の方が先生となり、遊びに来た子ども達と、昔ながらの遊びをしたり、舞鶴の歴史について楽しく話したりする施設です。他にも、ショッピングモールに入っている店舗を置いて、若い人を呼び込む工夫があると、たくさんの方が訪れると思います。

これらをきっかけに、助け合いが増えると思います。地域の人との交流を深めるために、こういったことに取り組むことを提案しますが、いかがでしょうか。

➤ 質問要旨「空き店舗の解消による地域の活性化について」 坂本 奈々美

私は、城南中学校の坂本奈々美と申します。

2点目として、商店街の空き店舗の解消による地域の活性化について提案します。

私は、今よりさらにより良い舞鶴になるためには、商店街の空き店舗減少が舞鶴の活性化に繋がると思います。

現在の舞鶴は、商店街を利用する方が少なく、それに伴い経営難になり、職を失う人が出てくると思います。また、今まで商店街を利用されていた方にとっても、店舗の減少により、買いたいものが買えないということが起こると思います。

このことから、空き店舗を利用し、人気店や、畳や障子等の和を取り入れた店を取り入れると、若い方から年配の方、そして近年舞鶴は、クルーズ船の入港が活発なので外国の方にも利用してもらえenと思います。

また、舞鶴は車社会なので、近くに駐車場を設置することで、いつでも気軽に商店街に立ち入る人が増え活気がつくと思います。

以上のことから、仕事も増え、舞鶴の活性化にも繋がるように、商店街の空き店舗減少を提案しますが、いかがでしょうか。

➤ 質問要旨「商店街への交通手段の整備について」 波多野 悦至

僕は、城南中学校の波多野悦至と申します。

3点目として、商店街への交通手段の整備について提案します。

舞鶴は深い歴史が残り、海や山など自然豊かなまちですが、様々な課題もあります。その中で、僕たちは、商店街に目を向けました。

西舞鶴にあるサンモールマナイは、夜の市などでは大変にぎわいますが、普段は人通りが少なく経営されていない「空き店舗」も多いです。これでは、商店街としての機能がなくなっていく、人々はショッピングモールなどの店へ行くことが日常となってしまいます。中でも、東舞鶴駅のそばにはらぼーるがあり、多くの方が買い物をしています。駅が近くにあるから多くの方が集まってくると言っても過言ではありません。

そこで、商店街の近くにも交通機関を設けてはどうかと思います。そうすれば、商店街に来る人が増え、空き店舗は減ります。さらに、交通機関も発展していくのではと考えます。

以上のことから、商店街のそばに交通手段を整備することを提案しますが、いかがでしょうか。

城南中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

城南中学校からの質問テーマ「商店街の活性化」についてお答えします。

まず、中野議員からお尋ねのあった「商店街の空き店舗の解消による地域交流の促進」についてですが、商店街においては、人口減少や高齢化、お客様ニーズの変化に伴う売上げの減少、後継者問題などの影響により、空き店舗が増加しています。

市としては、このような現状を踏まえて、まちの「顔」である商店街の活性化を図るために、商業者自らの工夫と努力はもとより、商店街への新たな出店に対する支援、元気な事業者の育成、また、店舗の魅力づくり等が必要であると考えています。

また、商店街の空き店舗を高齢者と子どもが交流する施設として活用することは、昔ながらの遊びやまちの歴史を学ぶことを通して、若者と高齢者が交流できる取り組みであるとともに、新たな商店街への来訪する目的を創る良い提案であると考えます。

八島商店街にある子育て支援施設においても、世代間交流によるとても良い効果が出ていると感じています。

また、若者が魅力を感じる店舗を誘致する取り組みは、空き店舗を減少させることだけでなく、商店街への新たな集客を促し、地域全体のにぎわい創出につながるものと考えられますので、ご提案を参考に引き続き地域交流の促進に取り組んでいきたいと考えています。

次に、坂本議員からお尋ねのあった「空き店舗の解消による地域活性化」についてですが、ご指摘のとおり、商店街の空き店舗を減らし、賑わいをつくることは非常に大切なことであると考えています。

ご提案いただいた人気店や和を取り入れた店舗の誘致につきましては、クルーズ客船の外国人観光客も年々増加していることから、大きな効果があると考えています。

また、買物客の駐車場につきましても、交通安全やまちづくりの観点から必要なまちの機能であり、特に西地区については、まちなかに駐車場が不足しているとのご意見を受け、暫定的に市民会館の跡地を活用し、観光バスも利用できる駐車場を設置したいと考えています。

現在も、商店街の空き店舗を減らすことを目的に、新しくお店を出店するための補助金を出したり、魅力ある商品をつくる「逸品づくり」事業、さらに利用しやすくするための駐車場の確保などに取り組んでいます。

市としては今後も引き続き、ご提案いただいた事業を参考にしながら、商店街の活性化に取り組んでいきます。

最後に、波多野議員からお尋ねのあった「商店街への交通手段の整備」についてですが、商店街の賑わいを創るために、魅力あるお店を作ることや イベント開催などの取り組みを現在、進めています。例えば、西舞鶴の商店街では、夜の市やちゃったまつり前夜祭、100円商店街、よびす市など、商店街に来ていただけるよう、様々な催しを実施されているところです。

また、舞鶴市のように車での移動が多いまちでは、駐車場が整備されていることも必要ですので、マナイ商店街では、駐車場を整備され、買い物しやすい環境づくりに努められているところです。

ご提案のとおり、まちの活性化には交通手段の整備・改善が必要と考えていますので、鉄道駅の新設は困難ではありますが、バスの30分毎の定時運行や乗り放題チケットの販売、鉄道ダイヤとの接続改善など今後もさらに商店街に行きやすくする工夫を行っていきます。

商店街の活性化については、中学生はもとより、市民の皆様が商店街を訪れ、ご利用いただくことが最も重要であると考えていますので、利用しやすくなるよう、交通の利便性向上やお店の魅力アップなど、市としては引き続き、商店街の方々と協力しながら活性化に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

学校名・学年

白糸中学校 2年

質問テーマ

防災対策

議員氏名・質問要旨

- 朝倉 壮哉・・・大雨・洪水被害について
- 梅垣 菜々美・・・原子力災害への対策について
塩見 華音
- 山中 眞凜・・・地震災害への対策について

質問

➤ 質問要旨「大雨・洪水被害について」 朝倉 壮哉

僕は、白糸中学校の朝倉壮哉と申します。

白糸中学校では、「防災」をテーマに、提案・質問します。

まず1点目ですが、「大雨・洪水被害」について提案します。

先月、九州の朝倉市に大規模な大雨・洪水被害がもたらされました。そこで、舞鶴市でも、突然、九州のような豪雨に見舞われた際に、適切な行動をとらなければなりません。そこで、僕は避難訓練のようなことが必要だと思います。なぜなら、学校の訓練でも火事・地震はあっても、大雨・洪水はないし、地域によっては川が近くにあつて避難所へ行くまでに危ない目にあつてしまう所もあるので、より実践的な避難訓練をするべきだと思います。

そこで、質問させていただきます。先ほど申し上げたように、突然、九州のような豪雨に見舞われた際に、僕たち市民一人一人はどのような行動・準備をしておく必要があるのでしょうか。

僕からの質問・提案は以上になります。

➤ 質問要旨「原子力災害への対策について」 梅垣 菜々美、塩見 華音

私は、白糸中学校の梅垣菜々美と申します。

2点目として、『原子力災害への対策』について提案させていただきます。

東日本大震災の時には、福島県で原子力災害が起き、甚大な被害を受けました。舞鶴市の隣の福井県にも原子力発電所があります。もし、そこで原子力災害が起こったら私達は身を守らなければなりません。その為に、市民全員が安全を守り、一人一人が適切に行動できるようになればよいと考えています。しかし、現状、地域では様々な対策が考えられているけれど私達学生は、その対策をあまり知らない人が多いと思います。だから、地域や学校で協力して訓練や講義を行う場を作って理解を深め、私達学生も自分で身を守れるようになれば被害を最小限に留められると思います。

そこで、お聞きします。今、舞鶴市では原子力災害にどのような対策をされているのですか。また、他にどのような対策をとれば良いと思われませんか。

➤ 質問要旨「地震災害への対策について」 山中 眞凜

私は、白糸中学校の山中眞凜と申します。

3点目として、『地震災害への対策』について提案します。

大規模な地震が起こらないとされていた九州の熊本で大規模な地震が起こりました。熊本地震で問題となっていたのは、山に囲まれている地域が山崩れで道路がふさがれてしまい孤立し、食料や水などに困っておられました。舞鶴でも山道の多い所があり同じ状況になると思います。東舞鶴は山に囲まれているため、西へ行くにも東の高浜の方へ行くにもトンネルを通る必要があります。トンネルが山崩れでふさがれてしまった場合、たくさんの方が逃げることも、食料や水・薬など必要な物を届けてもらうこともできなくなります。また、人が多く住む所では、避難所がいっぱいになり必要な物がすぐに不足してしまうと思います。体の不自由な人や病気の方は避難所での生活が大変だと思いますし、避難所へ行くこと自体が不可能な人もいると思われませんか。これらの内容について、3つの質問をさせていただきます。

1つ目は、山道の多い地域でも対策法は考えられているとは思いますが、舞鶴市ではどのような対策法を考えておられますか。

2つ目は、避難所で必要な物が不足した場合に支給してもらえる備蓄品はあるのですか。

3つ目は、障害者や高齢者の方など、避難所での生活が大変な人のためへの対応策はありますか。

白糸中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

白糸中学校からの質問テーマ「防災対策」についてお答えします。

先ず、朝倉議員からお尋ねのあった「大雨・洪水被害」についてであります。舞鶴市においても、平成16年の台風23号では、市民6名の尊い命が奪われ、3,406戸の家屋が被災いたしました。

平成25年の台風18号では、人的な被害はなかったものの、被災家屋は1,050戸に及んだところであります。

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

市では、「防災行政無線」や「メール配信サービス」、「FMまいづる」など、あらゆる手段を活用して、迅速かつ的確な情報伝達に努めているところであり、皆さんは、これら防災情報を、積極的に収集し、緊急時であっても、冷静かつ適切な行動を取っていただきますよう、お願いいたします。

大雨や洪水に対する避難行動につきましては、台風の接近など、災害の発生が想定される場合には、昼間の明るいうちに自主避難所を開設し、自主避難者を受け入れるとともに、災害の状況に応じ、小・中学校などの避難所や地域の避難所を開設いたしますので、日頃から、家族の人と相談し、避難所などへの避難ルートの確認、非常時持出品の備え、防災訓練の参加など、「防災の心構え」と「災害への備え」を、充分に取っていただきたいと考えております。

また、学校登校後に暴風・大雨警報が発表された場合には、早めに帰宅することとなります。

市といたしましては、自分の命は自分で守る「自助」、自分たちの家族や地域は自分たちで守る「共助」の取り組みを、更に、充実させるとともに、私が先頭に立ち、全力で、災害に強い「安全で安心なまちづくり」の推進に、取り組んでまいりたいと考えております。

次に、梅垣議員からお尋ねのあった「原子力災害への対策」についてありますが、福島第一原子力発電所の事故により、原子力発電の安全神話は、完全に崩壊し、原子力発電所に対する国民の認識は、一変したところであります。

原子力発電所の再稼働に関しては、いかなる事情よりも、安全性を全てに優先させることが、稼働の前提条件になるものと考えております。

福井県では、福島事故を教訓に、抜本的に見直され、世界で最も厳しい水準の「新・規制基準」に適合すると、国において認められた「高浜発電所3、4号機」が稼働を始めました。

私は、関西電力に対し、市民の安全、安心を守る市長として、何よりも安全を

最優先に、慎重の上に慎重を期して、絶対に事故が起こることがない運転を、強く、求めたところであります。

市では、万一の際、市民の皆さんが、安全に避難していただけるよう、避難の方法や手順などを定めた「原子力災害住民避難計画」を作成するとともに、避難道路の整備や情報伝達体制の強化などを進めてまいりました。

中学校においても、避難の方法や手順などを定めた「避難計画」があり、災害発生時は、原則、一旦、帰宅し、家族とともに避難することになりますが、家族と連絡が取れない場合等は、学校に留まり、先生の引率のもと避難していただくこととなります。

皆さんは、落ち着いて、正しい情報の取得と、先生や家族の指示を、よく聞いて、安全に行動するよう、心がけてください。

いずれにいたしましても、万一の際の住民避難については、私が先頭に立ち、責任をもって、取り組む考えであり、引き続き、原子力防災の充実、強化に、努めてまいりたいと考えております。

次に、山中議員からお尋ねのあった「地震災害への対策」のうち、一つ目の質問「山道の多い地域での防災対策」についてであります。普段から、道路の補強や拡幅などの改良工事、さらには、複数の避難道路の整備など、孤立する地域が発生することがないように、取り組んでいるところであります。

万一、土砂崩れなどにより、孤立した地域が発生した場合には、土砂撤去など復旧工事に、全力で、取り組むとともに、復旧が長引くと予想される場合には、自衛隊や海上保安庁などに要請を行い、空路や海路から、人命救助や物資搬入など、あらゆる手段を活用して、孤立した市民の救出、安全、安心の確保に努めてまいりたいと考えております。

二つ目の質問「備蓄物資」についてであります。本市に大きな影響を及ぼすとされる上林川断層を起因とする地震では、全壊・焼失による避難者は「最大7,816名」と想定されており、京都府と共同して、一人当たり2食分の食料「1万8千食」と、一人当たり1リットルの飲料水「7千8百リットル」を備蓄するとともに、粉ミルク、毛布などの防寒用具、簡易トイレ、おむつなど、必要数を確保し、迅速に供給できる体制を整えております。

他にも、地元スーパーと「物資の供給に関する協定」を締結しておりますが、皆さんも、自宅には、少なくとも「3日分」の食料や飲料水を備蓄するなど、いつ、どこで起こるか、予測が困難な地震の防災対策に、万全を期していただくよう、お願いいたします。

三つ目の質問「避難所における障害者や高齢者などへの対応策」についてであ

りますが、避難所では、保健師が、避難者の健康状態をチェックし、必要に応じ、避難所内に「福祉避難コーナー」を設置することとしております。

さらに、市内には、自宅療養され、自力で動くことができない、要配慮者の方が「378名」おられ、これらの方々が、避難所での生活が困難と判断される場合は、市内の特別養護老人ホームなど、15ヶ所の「福祉避難所」に移っていただくこととしております。

白糸中学校の議員の皆さんの質問「防災対策」につきましては、市民の生命と財産を守るという、市にとりまして、最も重要なテーマのひとつであります。今後とも、市民の皆さんが、安全、安心に暮らせるよう「災害に強いまちづくり」に、全力で、取り組んでまいりたいと考えております。

学校名・学年

青葉中学校 2年

質問テーマ

買い物を通したまちづくり

議員氏名・質問内容

- 川田 ひかる・・・東地区への新たな道の駅の整備について
- 水上 知美・・・舞鶴の特産品販売店の都会への出店について
- 菊田 ころも・・・空き店舗を活用した出張店舗について

質 問

- 質問要旨「東地区への新たな道の駅の整備について」 川田 ひかる

私は、青葉中学校の川田ひかると申します。

青葉中学校では、「買い物を通したまちづくり」をテーマに、提案・質問します。

まず1点目ですが、「東地区への新たな道の駅の整備」について提案します。

私は、今の舞鶴をより良くするために、道の駅を作り、舞鶴の魅力を知ってもらうことが大切になると思います。このことに関して、舞鶴の現状は、たくさんのおいしい食べ物や特産品があるのに提供しているお店が少ないです。また、地元の人の中にも、道の駅を知らない人、知っていても気軽に行けない人もいます。そこで、もっと舞鶴が良くなるために提案しました。西舞鶴にある「とれとれセンター」のような特産物を買ったり食べたりする場所が、赤レンガの中や東舞鶴にあったら、観光客やクルーズ船で来た人が行きやすいと思います。けれど、もしそのような施設ができて、みんなが知らないと意味がありません。だから、地元の人にはチラシ、観光客には看板などで宣伝すればたくさんの方が来ると思います。このように、道の駅をつくり宣伝すれば、観光客の人にもっと舞鶴の魅力を知ってもらえるのではないのでしょうか。

- 質問要旨「舞鶴の特産品販売店の都会への出店について」 水上 知美

私は、青葉中学校の水上知美と申します。

2点目として、『舞鶴の特産品などを売っているお店を都会に出す』ということをご提案したいと思います。

この提案のねらいは、二つあります。

一つ目は、舞鶴の名を都会の人達に知ってもらい、舞鶴に興味を持ってもらうことです。私は、小学生まで横浜に住んでいました。そこで、「私が引っ越す先は、京都府の舞鶴市だ」と言うと、「それ、どこ。」などという言葉がたくさん言われました。そこで、初めて舞鶴はあまり知られていないのだと知りました。だから、もっと都会の人に舞鶴を知ってもらいたいと思いました。それで、少しでも舞鶴に興味を持ってもらえたら良いなと思います。

二つ目は、舞鶴を訪れる人達を増やすということです。今もフェリーが通っていたり、ちゃった祭りがあつたりして、観光客がたくさん来ていると思いますし、これ以上増やす必要はないんじゃないかと思う人もいるかと思っています。でも、今の舞鶴は少子高齢化社会でもあり、若者の手が足りていない所があります。そこで、舞鶴に来てくれる人達を増やすことで、将来舞鶴に住みたいと思ってくれる人が出てくるかもしれないですし、訪れてくれた人たちの意見も聞けたら、もっと舞鶴が住みやすい、よりよい町になると思いますが、いかがでしょうか。

➤ 質問要旨「空き店舗を活用した出張店舗について」 菊田 ころろ

私は、青葉中学校の菊田ころろと申します。

3点目ですが、「空き店舗を活用した出張店舗」について提案します。

今の舞鶴市には、10代、20代などの若い人が遊びに行ったり、買い物をしたりするような大型のショッピングモールがありません。また、若者に人気の店も多くありません。私は、この現状を変えるべきだと思います。今のままだと「住みにくいから」「不便だから」という理由で舞鶴を出て行く人がどんどん増えていき、未来をつくる若者が減って過疎化が進む地域が出てくると思います。

そこで私は、お店が商店街の空き店舗などに期間限定でオープンする出張店舗を提案します。この出張店舗は、ショッピングモールに入っているお店や、今若者の間で流行っているお店が数週間ごとや1ヶ月ごとに商店街の空き店舗に交代で入っていく、というものです

これにより、若者がわざわざ「不便だから」という理由で舞鶴を離れることもなく、また、今まであまり行かなかった商店街に人が集まることで、商店街の活性化にもつながると思います。

大型のショッピングモールと提携がとれれば、舞鶴限定のイベントなども企画しやすくなり、舞鶴市外からもたくさん人が来てくれるきっかけになると思います。

青葉中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

青葉中学校からの質問テーマ「買い物を通したまちづくり」についてお答えします。

まず、川田議員からお尋ねのあった「東地区への新たな道の駅の整備について」ですが、各地の「道の駅」では、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々をお迎えする賑わい空間として、地域の雇用創出や経済の活性化等に大きく貢献しており、本市西地区の道の駅「とれとれセンター」においても、年間78万人の方が訪れているところでもあります。

ご承知のとおり東地区に「道の駅」はありませんが、現在、年間57万人もの来場者を迎える赤れんがパーク周辺一帯を、飲食・物販等の充実・強化はもちろんのこと、観光客に人気の海上自衛隊施設との連携を図りながら、年間100万人が訪れる日本有数の一大交流拠点にするための計画を策定しているところでもあります。

ご提案のありました「道の駅」につきましては、赤れんがパーク周辺のさらなる集客を図るうえでも非常に有効でありますことから、今後、地元特産品や舞鶴の魅力を広く発信する「道の駅」の整備を念頭に置きつつ、この事業を進めてまいりたいと考えております。

次に、水上議員からお尋ねのあった「舞鶴の特産品販売店の都会への出店」についてですが、舞鶴のことを紹介する際、特産品を示して説明すると、興味を持って聞いてくれることも多いので、人口の多い都市部で特産品を販売する水上議員のご提案、いわゆるアンテナショップについては、舞鶴の魅力を全国に広げるとしても良いアイデアであると考えます。

そのため、まずは舞鶴のすぐれた食材や特産品を知って頂くことを目的に東京の有名なホテルや高級レストランへの売り込み、また、新たな特産品の商品開発などに積極的に取り組んでいるところです。

大都市への特産品販売店の出店については、これまでから短期的なイベント出店は行ってきましたが、常設するには多くの品揃えをし、魅力ある店舗にすることが必要と考えますので、舞鶴市を含めた「海の京都」と位置付ける北部5市2町が一体となってアンテナショップを設置・運営することが可能か検討しているところです。

このように、あらゆる機会を通じて魅力ある食材や特産品の情報を全国に発信し、舞鶴の魅力を知ってもらい、来訪者の増加に取り組むことで、将来、舞鶴に住みたいと考える人達を増やしていきたいと考えています。

市としては、引き続き交流人口を増やし、積極的に観光振興に取り組むことで、訪れる人にとっても、住む人にとっても、より良い魅力あるまちにしていきたいと考えています。

最後に、菊田議員からお尋ねのあった「空き店舗を活用した出張店舗」についてですが、商店街においては、人口減少や高齢化、お客様ニーズの変化に伴う売上げの減少、後継者問題などの影響により空き店舗が増加しています。

市では現在、新規にお店を開始される方を対象に補助金を出し、あわせて、イベントでの利用やチャレンジショップなどの短期間の出店についても支援をしているところです。

若者に人気のある店の出張店舗についてですが、大手ショッピングモールに出店されているセレクトショップや有名なお茶専門店などが赤れんがパークで展示即売会を開催されているなど、短期間の出店の動きは拡大しています。

ご提案の商店街空き店舗に対する出張店舗についてですが、魅力ある店を短い期間でも誘致することは、商店街の活性化や若者の定着にとって素晴らしい提案であり、可能性を追求し取り組みを進めることで、若者に魅力ある企画も実施できると考えます。

商店街のにぎわいづくりには、空き店舗の減少が重要な課題であり、まずは商店街の皆様の魅力ある店舗づくりのご努力と市民の皆様にご利用いただくことが最も大切であると考えています。

ご提案にもある通り、市としては 短期間の空き店舗活用も含めて、魅力ある店舗を増やし、まちの顔である商店街の活性化、まちづくりに努めてまいりたいと考えています。

学校名・学年

若浦中学校 2年

質問テーマ

市の情報発信

議員氏名・質問内容

- 眞下 葵・・・舞鶴の情報・魅力を広げるについて
- 猪野 晃市郎・・・市の働く場所の発信について
- 小川 真未・・・自分たちが住んでいる校区の特色を伝えることについて

質 問

➤ 質問要旨「舞鶴の情報・魅力を広げるについて」 眞下 葵

私は、若浦中学校の眞下 葵と申します。

若浦中学校では、『市の情報発信』をテーマに提案・質問します。

まず1点目ですが、『舞鶴の情報、魅力を広げる』ことについて提案します。

まずは課題です。私が思うことは、舞鶴の情報が広がっていないということです。ホームページや広報まいづるなどありますが、特に若い人や中高生は、あることは知っていても、内容が大人向けなので、わざわざ手にとって読む人は少ないと思います。

これらのことを踏まえ、私が提案するのは、広報まいづるの内容を見直し、それを小中高各学校に配布することです。しかし、増刷することで広報費などの予算がかかるでしょう。ですが、内容を検討し、配布することで、多くの人の目にとまり、読んでもらえる確率は高くなると思われます。

それに、読むだけで舞鶴のことを知れるという点でも、街の発展や活性化につながると思います。さらに、中高生でも興味を持てるような情報を広報まいづるやホームページに載せるというのはいかがでしょうか。学校に配布して、見て、興味のあるような内容がなく、閉じてしまえば読んだことにはなりません。

そこで、舞鶴にある人気のお店やお得な情報などを載せます。お店側からすると、無料で広告を載せることができるので、読む人にもお店の人にもメリットがあると思われます。

このように、広報まいづるやホームページに中高生が興味を持てるような情報を載せることにより、舞鶴の情報を広げることができると思います。これらによって、舞鶴の魅力を知った大人が増え、街全体の活性化につながると思います。

これで、私からの提案を終わります。

➤ 質問要旨「市の働く場所の発信について」 猪野 晃市郎

僕は、若浦中学校の猪野晃市郎と申します。

2点目として、「市内での働き場所の発信」について提案します。

市内での働き場所は、市外の人どころか市内の学生にもあまり知られていないと思います。なので、市内の働き場所を市外の人に発信する必要があると思い、このテーマについて考えました。

たくさんの人に発信するためには、パンフレットやイベントなどをつくる必要があると思います。

パンフレットについては、市内の働き場所を紹介できるようなものが良いと思います。イベントについては、自衛隊のサマーフェスタなどの職業を体験できるイベントを増やせば良いと思います。他にも、少年消防クラブや中学生の職場体験などの仕事を体験できるものを増やすことで、市内の人にも発信することができると思います。

この提案について、市長さんはどう思われますか。

このような職業を体験できるようなものを増やすことで、市外の人や市内の人にも発信することができると思います。

以上で、僕からの提案を終わります。

➤ 質問要旨「自分たちが住んでいる校区の特色を伝えることについて」 小川 真未

私は、若浦中学校の小川真未と申します。

3点目として、『自分たちが住んでいる校区の特色を伝えるためにはどうしたらよいのか』について考えました。

突然ですが皆さん、自分たちが住んでいる校区の特色とはどんなものがありますか？

市の情報を発信していく中で、一定のものしか紹介されず、そのものにしか目がいかなかったりして、それら以外のさまざまな特色に気付かなかったりしていませんか？

そこで、舞鶴市をもっと細かく分け、各校区の情報をよりよく発信していくにはどのようにすれば良いのでしょうか。

私は、8月4日に城北中学校で行われた「第43回舞鶴市中学生の集い」に参加させていただきました。

そこでは、舞鶴市にある8校の代表者たちが集い、それを通して意見を交わし、よりよいものをつくるという活動が行われています。

実際に参加した中で、各校区ごとに行われている取組を資料などを使って発表し、それに対しての意見交流を行ったりしたことで、各校区の特色（良い点）に気付き、それらをこれからは活かしていくことができる。そんな場を設けること

は各校区の情報を発信することにつながっていくのでは、と思いました。

しかし、それだけでは各校区の代表者内でしか行われたいという点もあり、発信する規模が小さいのではないかとすることに気付きました。

各校区の良い点を発信することによって、そのことに興味を持ったり人口上昇につながっていくと思いますが、もっと各校区との交流や情報交換を広い範囲で行うにはどのような方法があると思いますか？

多くの意見が聞きたいです。

若浦中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

若浦中学校からの質問テーマ「市の情報発信」についてお答えします。

まず、眞下議員からお尋ねのあった「舞鶴の情報、魅力を広げる」ことについてであります。 「広報まいづる」では、舞鶴の歴史や魅力を伝えるシリーズ「舞鶴っ子～舞鶴大好き～」や、市内企業で働く先輩を紹介するシリーズ「舞鶴若もんワーク&ライフ」を掲載するなど、中学生の皆さんにも、有益な情報が発信できるよう努めているところであります。

さらに、「市政の今」では、6月号で「導入が進む小中一貫教育」を、7月号で「乗る港～クルーズ施策の新たなステージ～」を、8月号で「移住者の迎え入れと空き家の活用」をテーマにするなど、本市の重要施策やまちづくりの方向性について、中学生の皆さんにも、理解いただけるよう、分かりやすい情報の発信に努めているところであります。

現在、「広報まいづる」は、各学校に20部を配布しておりますが、皆さんに、より手に取りやすく、読んでいただくにはどのようにすれば良いか、今後、学校ともよく協議してまいりたいと考えております。

ぜひ、皆さんでも、広報まいづるの情報を学校全体で共有する方法について考え、提案していただきたいと思っております。

市では、ホームページや手紙で広く市民の皆さんからご意見をいただく窓口として、「市政なんでも相談室」を設置しておりますので、皆さんが考えられた提案をはじめ、市のまちづくりなどに関する意見を寄せていただければ、私のところまで届きますので、一緒にまちを良くする方法を考えていきましょう。

いずれにいたしましても、広報まいづるやホームページ、フェイスブックなど、様々なツールを通じて、中学生の皆さんにも、まちづくりに興味を持っていただける情報発信に努めてまいりたいと考えており、住んで良かった街「舞鶴」、住み続けたい街「舞鶴」の推進に、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

次に、猪野議員からお尋ねのあった「市の働く場所の発信」についてですが、舞鶴市では、「働く場所」の情報をより多くの人に、いち早く提供できるよう、WEB上で「舞鶴 企業・就職応援ネット」を公開し、市内の各企業の特徴や採用情報をリアルタイムに提供しており、中学生の皆さんでもパソコンやスマートフォンなどからご覧いただける環境を整えています。

舞鶴市には、造船やガラス等のものづくり産業を中心として、たくさんの企業があり、また、周辺の市町にも多くの「働く場所」があります。

そこには多くの職種があり、多くの人が働かれている、という状況を将来を支えていくみなさんにお伝えするため、一昨年からは、私が直接、市内全中学校の2

年生を対象に、「市長のふるさと舞鶴講義」として舞鶴市の「働く場所」について話をしているところです。

また、舞鶴市では、現在、高校生を対象に市内企業を訪問し、職場見学と先輩社員との懇談を行う「企業見学会」を実施しているほか、この8月には、中高生を対象とした医療体験イベント「ミッション・イン・ホスピタル」を実施し、多くの参加者が病院での職場体験を行ったところであります。

猪野議員の提案のとおり、中学校における職場体験等の機会を増やすことは、「働く場所の情報発信」として大変重要な手段であると考えますので、例えば夏休み中に中学生の皆さんが希望する企業等の職場体験ができるよう、企業等への働きかけを考えていきたいと思っています。

最後に、小川議員からお尋ねのあった「自分たちが住んでいる校区の特色を伝えること」についてお答えします。

まず、小川議員が、自分の校区についてもっと知りたい、そして、その魅力を多くの人に知ってほしいとってくれることを大変嬉しく思います。

私は、小・中学生の皆さんに、自分たちのふるさとに誇りや愛着を持ってほしい、舞鶴の良さを知ることにより、舞鶴をもっと好きになってほしいと思っています。

また、皆さんが学習を通して知った地域の魅力を、ぜひ皆さん自身が積極的に発信してほしいと思っています。

事例を紹介しますと、今年、市内の2中学校の3年生の皆さんが、独自に舞鶴の魅力を紹介する資料を作成して、修学旅行先である長崎市においてPRしてくれました。そして後日、何人もの方から、中学生から舞鶴の話しを聞くことができ嬉しかったことや、機会があれば舞鶴を訪れたいという連絡をいただいたと聞いています。

また、小川議員が紹介されました「舞鶴市中学生の集い」も、市内の中学生が互いに交流し、理解を深めるためのすばらしい取組であり、こうした取組を今後もぜひ続けてほしいと思っています。

お尋ねの各校区との交流や情報交換をもっと広範囲で行う方法につきましては、「舞鶴市中学生の集い」は代表者だけでなく、もっと大勢の参加者のもとで、地域の良さについて交流し合う場としたり、また、敬老会をはじめ地域行事などの場において、皆さんが学習した地域の魅力を紹介したり、また、各学校のホームページに掲載したりするなど、さまざまなやり方があると思います。

まずは、皆さんが自分達の校区の自然や歴史、伝統文化などの特色をしっかりと学んでみてほしいと思いますし、そのために必要な学習資料を作成し、皆さんに提供したいと考えております。

そして、皆さんが学んだ地域の魅力を学校内、さらには市内外へと発信してく

れることを期待しています。

若浦中学校の3人の議員さんから提案をいただきました、本市の情報発信につきましては、市内外の人に舞鶴の魅力、良さを知ってもらうために大変重要だと考えていますので、今後とも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

学校名・学年

加佐中学校 2年

質問テーマ

加佐の魅力発信

議員氏名・質問内容

- 佐藤 夏音・・・加佐地区の行事の活性化について
- 眞下 陸仁・・・加佐のお茶の魅力の発信について
- 藤本 悠大・・・加佐へのUターン、Iターンについて

質 問

➤ 質問要旨「加佐地区の行事の活性化について」 佐藤 夏音

私は、加佐中学校の佐藤夏音と申します。

加佐中学校では、『加佐地区の魅力の発信』をテーマに提案、質問します。

まず1点目ですが、「加佐地区の行事の活性化」について提案します。

私たちの住む加佐地区には、舞鶴発祥の「万願寺甘とう」が盛んに栽培され、お茶作りも有名です。

加佐地区は、由良川など自然が豊かで、農業がとても盛んな地域です。

その農業や自然を生かし、万願寺甘とうを利用した万願寺祭り、由良川で川舟レースなど、加佐の良さを生かした行事が行われています。

しかし、その行事について知っている人は少なく、その行事に来る人もあまり多くはありません。

たくさんの方が集まってくると行事の活性化にもつながり、加佐地区をPRできます。そのためには、チラシを配ったり、ポスターを貼ったりして行事の情報を多くの人に伝えることや、行事に参加しやすい地域づくりが大切だと思います。

もっと行事を盛り上げ、私たちが大人になった時にも受け継がれるようにしていき、全国に発信する必要があると思います。

これを実現させるために、市長さんはどのような対策を考えておられますか。

➤ 質問要旨「加佐のお茶の魅力の発信について」 眞下 陸仁

僕は、加佐中学校の眞下陸仁と申します。

2点目として、「加佐のお茶の魅力の発信」について提案します。

加佐のお茶は、全国で1位になりました。

しかし、あまりアピールできていないのか、同じ地域の人でも知らない人がいるのが現状です。なので、もっと加佐のお茶をアピールすればいいと思います。

なぜなら、京都の宇治茶は全国でとても有名です。しかし、加佐のお茶はあまり知られていません。僕は、宇治茶と並ぶぐらい有名になってほしいと思っています。

例えば、パンレットやポスターを作って、多くの人に配布してはどうでしょうか。

市長は、加佐のお茶がおいしいということを1年を通してアピールする対策をどのように考えておられますか。

➤ 質問要旨「加佐へのUターン、Iターンについて」 藤本 悠大

僕は、加佐中学校の藤本悠大と申します。

3点目として、「加佐へのUターン・Iターン」について提案します。

加佐地区では、前の2人が発表したように、豊かな自然を生かした農業やお茶作りが盛んです。

しかし、若い人たちが都会に出て行って、過疎化になって、お年寄りが農業や村の行事の準備をしている状態になっています。

そして、他に残っている若い人たちも少なく、少人数で村を作っている状態になっています。

農業の担い手となる人がUターン・Iターンで加佐に住んでもらえるような政策をどのようにお考えなのでしょうか。

加佐中学校からの提案・質問は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

加佐中学校からの質問テーマ「加佐地区の魅力の発信」についてお答えします。

まず、佐藤議員からお尋ねのあった「加佐地区の行事の活性化について」ですが、加佐地区では、自然や特産物を生かした特色のある行事が数多く行われており、地域の皆様が力を合わせて、地域活性化に取り組まれています。

8月6日には、加佐ふるさと塾の主催で「川船レース」が開かれ、多くの人々が集まり、大変賑わっていましたが、その中に加佐中学校女子生徒のチームも参加され、息の合ったオールさばきで見事優勝されていました。

中学生の皆さんが積極的に地域の行事に参加されることは、行事を盛り上げるだけでなく、地域に元気を与えるためにも大変意義深いと感じており、心から敬意を表します。

こうした地域行事の継続・発展につきましては、加佐分室や地域づくり支援課、農林課、水産課など市の関係部署が連携して積極的に支援し、地域を盛りたてたいと考えております。

とりわけ多くの方々に行事をお知らせし、参加者を増やすためには、効果的なPRが必要であり、市ではこれまでから回覧板やチラシ、「広報まいづる」やホームページを使ったPRに努めてきましたが、最近では「まいづるメール配信サービス」やSNSといった新たな方法も使うようにして、若者からお年寄りまで広くお知らせが行き渡るようにしています。

また、大庄屋上野家内に開設している「加佐地域農業農村活性化センター」でも、情報発信サイト「あいあい加佐」を運営し、地域行事や地域の魅力を全国に発信しています。

これからも時代に合った効果的な情報手段を検討し、加佐地区をはじめ市内各地の魅力をさらに発信することで、地域の発展を支援してまいりたいと考えております。

次に、眞下議員からお尋ねのあった加佐のお茶の魅力の発信についてですが、舞鶴の加佐のお茶は、平成24年から5年連続して全国茶品評会の「かぶせ茶の部」で日本一に輝いており、全国的に非常に高い評価をいただいています。毎年私も品評会に出すお茶を手摘みする初摘みには参加しているところです。

宇治茶については全国的に有名ですが、全国的に販売するためには大量の商品が必要であり、現在、宇治茶の原料は、宇治市内だけでなく、山城地域や舞鶴も含む中丹地域などの京都府内を中心に、山城地域に隣接する奈良・滋賀・三重県の各地域から集められています。その集められたお茶を、長い歴史の中で磨き上

げられた高い加工技術、ブレンド技術によって宇治茶として加工し販売されています。

舞鶴のお茶は、生産量に限りがありますが、色が鮮やかで評価が高く、その大半が宇治茶の原料として出荷される一方、一部が舞鶴茶として販売されている状況です。

市としましては、そのような中、舞鶴が品質の高いお茶の産地であることを多くの人に知ってもらうため、一昨年に舞鶴産のお茶振興条例を定め、みなさんにお配りしたティーバッグを昨年今年とも7,000個作成し、クルーズ客船の乗船客や観光客へ配布したり、市役所市民ホールや各種イベントでお茶の振る舞いを行って、多くの市民にも知ってもらうようPRに努めています。

さらに、今年6月には東京の高級ホテルである「ザ・リッツ・カールトン東京」で有名なレストランのシェフを集めて、舞鶴産の他の食材とともに味わってもらうなど、少量で、値段が高くても、本当に良い商品を買求めるお客さんへの舞鶴茶の売り込み・PRも行っています。

今後も関係者と一緒になって、舞鶴茶の商品開発やお茶の栽培を頑張る農家を支援し、美味しい舞鶴のお茶をみなさんに知ってもらうよう取り組んでいきます。

最後に藤本議員からのお尋ねのあった「加佐へのUターン、Iターンについて」ですが、加佐地域に限らず、市全体として少子高齢化が進む中、市では、移住定住の推進を重要な政策と位置付け、重点的に取り組んでいます。

舞鶴に住んでいると気づきにくいですが、食べ物もおいしく、すぐ近くに豊かな自然があり、さらに京阪神地域へも1～2時間で行けるなど、心豊かに暮らせる「まち」として魅力的な要素をたくさん持っています。

加佐地域には平成24年から5年間で18世帯42人が移住されていますが、さらに移住者を受入れていくためには、まずは実際に素晴らしい自然や食べ物、温かい人柄など地域の魅力に触れていただくことが大切であり、大庄屋上野家にある加佐地域農業農村活性化センターでは、自然や田舎の魅力を体験する事業を積極的に進めています。

実際に移住を希望される方には、西方寺にあります雲の上のゲストハウスなどで田舎ぐらしを試してもらったり、空き家情報バンク制度で空き家を紹介するとともに、地域の役員さんに地域の様子を教えてもらっています。さらに、京都府の移住促進特別区域に指定されている加佐地域、大浦地域では、移住の際の空き家改修費や片づけ費用を補助しています。

また、農業の担い手の育成・支援については、2年間の農業研修制度を設けたり、農業経営を始めたばかりで収入が不安定な新規就農者には給付金を交付する

など支援をしています。

さらに、国の地理的表示保護制度G I、いわゆる農産物の地域ブランドの国の指定を受けました「万願寺甘とう」などの生産や、加工・販売を含めて一体的に行う6次産業化の推進など、付加価値の高い農業を支援し、農業や農業プラスその他の副業で暮らしていけるよう取り組んでいます。

いずれにしましても、移住者の方を受け入れる地域の皆様のご理解・ご協力、市との連携により、移住者の方が早く生活に慣れ、地域の担い手として活躍できるよう支援し、活気のある地域となるよう移住定住の取り組みを進めていきたいと考えています。

加佐地域も含め「舞鶴」は本当に素晴らしい「まち」です。このふるさとで生まれ育ったみなさんには、ぜひ地域に残っていただき、地域を支えてほしいと思っています。

学校名・学年

城北中学校 2年

質問テーマ

暮らし、まちづくり

議員氏名 ・ 質問内容

- 鱈目 貴公・・・歴史的建造物の公表について
- 村上 幹汰・・・みんなが集える施設の整備について
- 高岸 優進・・・中学校の部活動の充実について

質 問

➤ 質問要旨「歴史的建造物の公表について」 鱈目 貴公

僕は、城北中学校の鱈目貴公と申します。

城北中学校では、「暮らし・まちづくり」をテーマに、提案・質問します。

まず1点目ですが、「歴史的建造物の公表」について提案します。

舞鶴のいい所は、歴史的建造物が多い所ですが、舞鶴市民しか建造物の詳しいことを知らないのが今の課題だと思います。そうなる理由は、舞鶴のホームページを見ている人が少ないからだと思います。だから、ホームページだけではなく、テレビなどでPRしたらいいと思います。例えば、ライトアップされた赤れんがを放送したり、田辺城の祭りがある日には宣伝したりしたら、インターネットを見ない人にも来てもらえると思います。

このことは、歴史的建造物に恵まれている舞鶴だからこそできることです。僕は舞鶴の魅力を伝えたいので、テレビで宣伝したらいいと思いますが、市長はどう考えておられますか？

➤ 質問要旨「みんなが集える施設の整備について」 村上 幹汰

僕は、城北中学校の村上幹汰と申します。

2点目として、『みんなが集える施設の整備』について提案します。

最近は、電子機器の普及などにより、外へ行く人がかなり少なくなっていると思います。舞鶴の山、川、海を利用して多くの若者を対象に外へと出向いてくれる施設を作ったりすると多くの人が楽しむことができると思います。

また、現在ある公園などリニューアルしたりして再整備を行ってほしいと思います。

この提案に対して、市長さんは、どう思われますか？

➤ 質問要旨「中学校の部活動の充実について」 高岸 優進

僕は、城北中学校の高岸優進と申します。

3点目として、『中学校の部活動の充実』について提案します。

僕は、小学校の時、陸上のチームに所属していました。しかし、中学校になって部活中心になり、そのチームから離れてしまいました。中学校の部活では、専門とするコーチや監督が少ないです。だから、僕は自主練習をしようと思ったけれど、ジムやグラウンド、タータンなど運動する施設が少ないです。グラウンドもジムもお金がかかるし、中学生では使うことが難しいです。つまり、トレーニングする環境が整っていないということです。

コーチや監督を雇うことができないのなら、専門的に教えてくれる学校の生徒や、専門的なコーチに教えてもらえるようにしてほしいです。

僕は、部活を専門とするコーチや監督がほしいのですが、どう思われますか？

また、トレーニングする場所を増やしてほしいのですが、どうお考えですか？

他校との部活の交流を増やしてほしいのですが、どうお考えですか？

城北中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

城北中学校からの質問テーマ「暮らし、まちづくり」についてお答えします。

まず、鯖目議員からお尋ねのあった「歴史的建造物の公表」についてですが、本市には、たくさんの素晴らしい歴史的建造物があるとの認識をお持ちであり、大変嬉しく心強く思います。

国の重要文化財に指定されている赤れんが倉庫や、関ヶ原の戦いの前哨戦を今に伝える田辺城跡のほかにも、松尾寺、多禰寺、金剛院などの有名な寺社や、吉原・成生地区の昔ながらの漁村のたたずまいなど、舞鶴には、歴史的建造物を含む歴史文化遺産が数多く残されています。

これらは、「舞鶴の宝物」であり、大切に保存するとともに、まちづくりに活用していくために、「歴史文化基本構想」の策定により、取り組みを進めているところ です。

この魅力的な歴史文化遺産の数々を市外の人々にも伝えるために、ホームページの掲載のほか、舞鶴を紹介するテレビ番組や、フィルムコミッションで、映画のロケ地として使用してもらうなど、様々な方法で周知に努めています。なかでも、鯖目議員のご提案のとおり、テレビ放映などマスメディアを通じたPRは、たいへん効果が高いと考えます。

市でテレビ番組やCMを制作するには、多額の費用が必要となることから、市といたしましては、ニューストピックスや旅番組などで取り上げていただくよう、積極的に働きかけており、最近では、多くのテレビ局の取材に来ていただいているところ です。

今後とも機会あるごとに、舞鶴の歴史文化遺産を、積極的にPRしていき、周知に努めたいと考えております。

次に、村上議員からお尋ねのあった「みんなが集える施設の整備について」ですが、舞鶴の魅力の一つは、美しい自然に囲まれた地域であると考えております。

緑多い山、水資源に欠かせない美しい川、そして限りなく青色に輝くきれいな海です。そのような豊かな自然にレジャーやスポーツ等を通じて触れ合える場を持つことは、若い皆さまに限らず、さまざまな世代の方々にとりましても、この舞鶴がいかに素晴らしい地域であるかを再認識していただけるものと考えております。

そのためのアウトドアでの活動を、身近で気軽に楽しめる施設の整備や既存公園の再整備も視野に入れてはどうかと言った、幅広い視点からのご提案は大変有

意義で素晴らしい発想であると思います。

市では、山を活かした立地にある自然文化園やフィールドアスレチックやキャンプ、スケートボードなどが楽しめる青葉山ろく公園、川辺においては、伊佐津川の散策の拠点となる西運動公園に、この度、京都府北部初となる人工芝のグラウンドを再整備しました。舞鶴親海公園では、年間を通して気軽に海釣りが楽しめるなど、市内にはさまざまな公園があります。

また、自然や歴史を楽しみながら走る「みなと舞鶴とれとれトレイルラン」や由良川で開催される「川舟レース」をはじめ、自然を活かしたアウトドアイベントが多く開催されています。

今後、これらのあり方や活用方法を再検証するなかで、若い世代の方々をはじめ、多くの皆さまが、この舞鶴の自然の魅力に触れ、楽しんでいただけるアウトドア向け施設の整備やイベントの充実等について、よく検討してまいりたいと考えております。

最後に、高岸議員の中学校の部活動の充実についてのご質問にお答えいたします。

本市の中学校では、これまでから、活発に部活動が行われており、陸上競技やソフトテニス、バドミントン、剣道など、全国大会をはじめとする上位大会で、多くの皆さんの先輩が活躍してこられました。

特に、本市城南中学校出身の齋藤里香さんや城北中学校出身の山口有希さんが、オリンピックで活躍されたことは、記憶に新しいところです。

現在、中学2年生の皆さんも、日々熱心に部活動に取り組んでおられ、大変頼もしく思っております。

中学校における部活動への取組としては、これまでから、専門性を持った教職員が指導にあたることに加え、実技指導や助言を行う、競技力向上のための外部指導者の配置を行っているところであります。

また、今年4月からは、「部活動指導員」という、地域のスポーツの専門家を置くことができるよう、国の制度が改正されたことに伴い、この制度を利用して、舞鶴市では、青葉中学校に、剣道の専門家の方に、生徒の技術の向上はもちろん、対外試合などの引率もお世話になっているところです。

高岸議員が希望しておられる、部活動に専門の監督やコーチを置くことについては、今後も可能な限り、「外部からの指導者」や「部活動指導員」等を配置できるよう取り組んでまいりたいと考えています。

次に、トレーニングをする場所についてですが、現在利用いただいている施設を、更に使いやすくなるようにしたり、質の向上を図るなど、練習する環境の充

実に取り組んでいきたいと考えています。

さらに、他校との部活動の交流についてですが、皆さんが切磋琢磨し、互いに向上することは、大変重要であると考えていますので、今後とも、練習試合など、学校間の交流が増えるよう、教育委員会において支援していきたいと思えます。

いずれにいたしましても、中学校生活における様々な学習や体験活動を通して、心身ともに立派に成長してもらえよう、教育環境の充実に努めていきたいと考えています。

学校名・学年

和田中学校 2年

質問テーマ

観光振興

議員氏名・質問内容

- 桑原 美希・・・外国人向けの体験ツアーの開催について
- 戸島 日和・・・歴史に関する施設の活用について
- 谷口 楓果・・・SNSを使った舞鶴の食べ物のPRについて

質 問

- 質問要旨「外国人向けの体験ツアーの開催について」 桑原 美希

私は、和田中学校の桑原美希と申します。

和田中学校では、「観光」をテーマに、提案・質問します。

まず1点目ですが、「外国人向けの体験ツアーの開催」について提案します。

市長さんが「ふるさと舞鶴講義」で、クルーズ船の来航が1年間に2倍以上に増えていることを教えて下さいました。

クルーズ船が来てどのようなことが変わりましたか？西舞鶴などを歩いて観光する人がいると聞きましたが、舞鶴全体を知ってもらうために、私は「舞鶴体験ツアー」を開催すればよいと思っています。例えば、かまぼこ作り、とれとれセンターの海鮮井作り、漁港の見学、開催していれば祭りに行くなど、舞鶴のアピールポイントを実際に体験できるツアーを開催すれば、舞鶴の魅力をクルーズ船で来た人達に伝えることができると思います。

以上のことから、このような外国人向けの体験ツアーの開催を提案しますが、いかがでしょうか。

- 質問要旨「歴史に関する施設の活用について」 戸島 日和

私は、和田中学校の戸島日和と申します。

2点目として、『歴史に関する施設の活用』について提案します。

最近、若者の歴史や戦争に対する関心が低くなっていると思います。

舞鶴には、引揚記念館、赤レンガ、田辺城、東郷邸があります。

そこで、小中高校生を対象に、招待してみてもはどうでしょうか。例えば、夏休みの自由研究を手伝う取組です。ただ本を読み、ネットで検索するより、実際に目で見て聞くことで、より印象強く記憶に残ると思います。これを紹介するためには、市内メールなどの配信、ポスターを人の目に付くスーパーや公民館などに設置するのがいいと思います。市外の子供たちを招待することによって、舞鶴のPRにもなるのではないのでしょうか。もともとある施設で取組を行うことで、効率よく行うことができます。

このような、子供たちが親しみやすい取組を行うことを提案しますが、いかがでしょうか。

➤ 質問要旨「SNSを使った舞鶴の食べ物のPRについて」 谷口 楓果

私は、和田中学校の谷口楓果と申します。

3点目として、『SNSを使った舞鶴の食べ物のPR』について提案します。

最近の若者は、SNSをよく見えています。それは、国内にも国外にも届きます。なので、SNSばえするようなインパクトのある舞鶴特産の食べ物を作ることを提案します。インパクトがある食べ物とは、カラフルとか、大きいとかです。

このような食べ物を売り出すことで、若者が舞鶴を訪れたり、働き手が増えたりして、街の活性化が望めます。

他にも、この街には外国の方も来られます。そこで、英語とかさまざまな国の言葉で書いてある外国の方が入りやすい店を作り、舞鶴の特産品で作った食べ物を売ります。それをSNSなどでアピールすることで、外国人観光客の増加も望めます。

このように、SNSとのつながりを深めることで、舞鶴の食べ物の魅力が伝わり、街の活性化にもつながると思うのですが、いかがでしょうか。

和田中学校からの質問・提案は以上となります。

答 弁 ・ 多々見良三市長

和田中学校からの質問テーマ「観光振興」についてお答えします。

まず、桑原議員からお尋ねのあった「外国人向けの体験ツアーの開催」についてですが、京都舞鶴港へのクルーズ船の寄港は年々増加し、昨年の17回から、今年約40回となり、おもてなし事業として、クルーズ船が停泊するふ頭では観光案内や特産品の販売を行っています。

また、クルーズ船の寄港が増えたことにより、市内の一部の飲食店では外国語で書いたメニュー表を作ったり、舞鶴の旬の食材を使った特別メニューを提供するなど、新たな取り組みも進んでいます。

次に体験メニューについてですが、舞鶴の魅力を実際に体験できるツアーは素晴らしい取り組みです。特にクルーズ船のお客様に対して、他の港にはない舞鶴らしい魅力をつめこんだツアーを提供することは、舞鶴を大好きになっていただき、リピーターを増やすうえで、とても大切なことで、現在、かまぼこの手作り体験や地域のお祭りを見学するツアーを民間の観光団体とともに取り組んでいます。

ご提案いただいた海鮮井作りや漁港見学などは「魚のまち舞鶴」をアピールする素晴らしいツアーになると思いますので、このような魅力的なツアーを企画するとともに、多くのアイデアをいただきながら、魅力発信に取り組むたいと考えています。

いずれにしても、まちの賑いを創り、地域の経済を活性化させるため、市としては外国人を含めた観光客誘致に力を入れており、結果として昨年の観光入込数は、5年前から比べると約100万人増の約240万人となり、観光消費も約41億円に達し、その経済波及効果は約125億円と推定され、観光による地域経済への効果は大きいものと考えています。

今後も引き続き、地域経済の活性化には、交流人口を増やすことが大切であることから積極的に観光振興に取り組んでいきます。

次に、戸島議員からお尋ねのあった「歴史に関する施設の活用」についてのお尋ねですが、舞鶴は、西地区は細川幽斎が作った城下町、東地区は明治時代、旧海軍の鎮守府がおかれた海軍ゆかりのまちという特徴的な2つの歴史を持っています。地方のまちでありながら、その歩んできた歴史は日本の歴史において、重要なもので、市内には田辺城資料館や赤れんが博物館、引揚記念館、東郷邸など歴史を伝える施設が数多くあります。

これらは、舞鶴にとって大切な施設であり、特に若い皆さんには、ぜひ知って

いただきたい歴史を将来にわたり大切に伝えています。

現在、全ての小学校6年生には引揚記念館に学校単位で来ていただいておりますが、年代によって感じることも変わってくると思われまますので、中学生、高校生の皆さんに対しても、親しみやすく、歴史の深みを感じてもらえる教育旅行を対象とするプログラムを提供できるように取り組んでいきたいと考えます。

ご提案のとおり、本やインターネットで調べるだけでなく、実際に、目で見、話を聞くことにより、理解が深まり、確かな力になると考えていますので、引揚記念館では新たに「抑留体験室」などを作るリニューアル事業を現在、進めています。

これまでの積極的な取り組みにより、首都圏からの教育旅行は年々増加していますので、引き続き舞鶴の歴史に若い世代が親しみを持つ取り組みを進め、さらに全国から多くの方に来ていただけるよう、まちの魅力発信に取り組んでいきます。

最後に、谷口議員からお尋ねのあった「SNSを使った舞鶴の食べ物のPR」についてですが、舞鶴の食べ物の良さをSNSで情報発信するとともに、インパクトのある舞鶴固有のデザインを持った食べ物を創りだすことは大切であると考えます。

昨年度実施したマーケティング調査、いわゆる観光における消費者の意向調査によると、舞鶴は料理や食材に対する評価が高く、「食」に対する満足度が高いという調査結果となっています。

そのことから、「食」に焦点をあてて、SNSなどのツールも利用した情報発信をすることにより、舞鶴の食文化と食材の魅力を発信し、それを目的としたビジネスや観光などの来訪者の増加に取り組んでいきたいと考えております。

また、外国人が入りやすいお店をつくることについてですが、年々外国人の来訪者数は増えており、昨年市内に宿泊された外国人は1万人を超えていることから、来訪された外国人のニーズに応えることは大変重要であると考えております。

その対応としまして、赤れんがパークをはじめ認定外国人観光案内所が市内で4か所設置されているほか、英語や中国語などの6ヶ国語の観光パンフレットを作成したり、無料でWi-Fi接続できる場所を増やすなどの取り組みを進めています。

また、飲食店には、今後も引き続き、多言語対応のメニューを用意していただいたり、ネット環境を整備いただくなど、働きかけていきたいと考えております。

市としては、今後ともSNSを利用するなど情報発信を強化し、交流人口を増やし、積極的に観光振興に取り組み、まちの活性化に努めていきます。

皆さん、大変お疲れさまでした。

閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日開催されました「まいづる中学生まちづくり議会」は、冒頭に市長からもご挨拶がありましたように、中学生の皆さんが、当事者意識を持って、自分達が住んでいる、生まれ育った舞鶴について考える機会として開催されたものです。

皆さんが、多々見市長の「ふるさと舞鶴講義」から学んだことをもとに、自分達で相談し考えた、身近な生活に関わる質問や、舞鶴市の将来に目を向けた提案などは、それぞれが本当に素晴らしい内容でありました。

多々見市長さんからの答弁も、皆さんの提案や質問の意図をよく汲み取っていただき、丁寧な答弁をしていただきました。

もしかしたら、皆さんが今日のこの場で提案したことが、今後、市の施策として実現するかもしれません。そういうことになれば、私も大変嬉しく思いますし、皆さんは、本日のまちづくり議会を通して、本当に素晴らしい経験をされたと思います。こうした市民の代表である議員と行政との関係が、住民自治を支える仕組であるということも学ぶことができたと思います。

今後も、皆さんの一人一人が舞鶴のことを学ばれ、ふるさと舞鶴により一層愛着と誇りを持っていただきたいと思います。そして、いずれはこの私達のまち、ふるさと舞鶴を支える人材となっていただくことを期待いたしております。そのためにも、中学生生活において将来の目標をしっかりと定め、今後とも勉学やスポーツに励んでいただきたいと思います。

今回の経験が、皆さんの将来へ向けた「志」を定める一助となること、そして皆さんの今後の頑張りを期待申し上げますとともに、このような場を設けていただきました、多々見市長様、議長としてお世話になりました上野修身市議会議長様、そして関係者の皆様、並びに保護者の皆様に心から厚くお礼を申し上げます。簡単ですが閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

表 彰 式

○ 最優秀提案賞の表彰

7中学校の皆さんからの質問・提案の中で、特に素晴らしい提案をされた学校に対して、市長から最優秀提案賞として表彰されました。

○ 受賞校

どの中学校も、本市の課題を適切に捉えた大変素晴らしい質問と提案でありました。その中で、若浦中学校の提案は、市政のPRや本市の発展のために自分達に何ができるかということを考えてうえで、自分達にできることをしようという意思が表現された質問と提案であり、最優秀提案賞に選考されました。

- 学校名

若浦中学校

- 質問テーマ

市の情報発信

- 質問者氏名・質問要旨

眞下 葵

「舞鶴の情報・魅力を広げることについて」

猪野 晃市郎

「市の働く場所の発信について」

小川 真未

「自分たちが住んでいる校区の特色を伝えることについて」

中学生議員の感想文

題 名

「まいづる中学生まちづくり議会に参加して」

青葉中学校 2年 川田 ひかる

私は、今回の「まいづる中学生まちづくり議会」に参加して、普段より舞鶴のことについて考えることができました。また、舞鶴の課題や、逆に良い所も改めて知ることができました。

私達、青葉中学校では「買い物」をテーマに質問しました。舞鶴にはたくさんのおいしい特産品があるし、たくさんの観光客も来てくれるので、買い物を通して多くの人に知ってもらえば、もっと舞鶴が発展するのではないかと考えました。市長さんは、赤レンガと道の駅とのこれからの方針を言っていたけど、本当に東地区に道の駅ができたらうれしいなと思います。他にもたくさんの方が提案していたので、本当に実現されたらもっと舞鶴が楽しくて魅力的なまちになると思います。そのことを考えるとワクワクします。今回、参加してとても楽しかったし、舞鶴のことをよく知ることができてよかったです。

青葉中学校 2年 菊田 ころろ

私は今回、この「まいづる中学生まちづくり議会」を終えて、学べたことがたくさんあります。

まず、第一に「舞鶴について学べた」ということです。今まで知らなかった舞鶴の現状や課題、そしてその解決策や今後の取組などについて知ることができました。

次に、「他地域について」です。自分の校区内のことしか知らなかったけれど、他校と発表や交流をするうちに、他地域の文化や自然環境、イベントについてがわかり、とても興味が持てました。

最後に、「体験」です。今回貴重な体験をさせていただき、いい勉強になったと思います。自分の故郷について考えること、その考えたことを自分なりにまとめること、それを発表し、自分の考えを知ってもらうこと、発表を聞いて自分の中に吸収することなど、本当に大切なものを体験を通して学ぶことができました。今回は貴重な体験、本当にありがとうございました。学んだことを糧として頑張っていきたいです。

青葉中学校 2年 水上 知美

私は、まいづる中学生まちづくり議会に参加させていただいて、舞鶴の良い所や課題を知ることができました。また、私は東舞鶴にばかり注目していたのですが、議会に出て、西舞鶴や加佐のことも目を向ける事ができました。議会では、私が提案した舞鶴の特産品販売店の都会への出店について、市長さんは、もうすでに東京のホテルのレストランに舞鶴の食材を使用していると言っていました。それを聞いて私は驚きました。私の提案がすでに実現していたこと、また、市長さんの努力あってこそ実現したのがすごいからです。

また、他の議員さんが提案した意見に、市長さんが商店街に新しい店を出店するのを計画していると言っていました。それを聞いて私はとても嬉しかったです。商店街の空き店舗が無くなるのはもちろん、新しいお店があったら、私も舞鶴の人も喜ぶし、たくさんの方が集まると思います。

私は今回議会に参加した経験、学んだことを今後に生かしたいです。

白糸中学校 2年 朝倉 壮哉

今回、僕はこのまちづくり議会に白糸中学校の代表として参加させていただいて、実際の議場での発言をしたり自分達での質問書の内容を考えたり、とても自分のためになるいい機会でした。また、今回のことで市長様方が舞鶴の防災や発展についてどのように考えておられるかというのは、今までは実感することも知らなかったけれど、中学生の質問に答えていらっしゃったところを見ていて、当たり前なのだけど、しっかりと答えられていらっしゃるのだと実感しました。

それから、僕たちが質問した防災についても、真剣に対策や解決策について話しておられて「しっかり考えられていて、もし仮に災害が起こってもなんとかなるだろうな」と安心できました。

僕は、今回他のみんなが体験できないような貴重な体験をさせていただいて、とてもいい経験になったので、翌年も続けて中学生の力で市を良くしていったほしいと思います。

白糸中学校 2年 梅垣 菜々美

まいづる中学生まちづくり議会を終えて、今までは政治や市の事に興味を持ったことがなかったけれど、はじめて自分から調べてみようと思えました。私達の学校は「防災」について提案・質問をさせていただいて、少し緊張したけれど、市長さんに直接話せたことは良い経験をさせてもらったと思います。

私は市長さんの答弁を聞いて、市民を守るために多くの対処法をすでに考えられていて、私達学生の適切な行動についてもくわしく説明してくださって、頑張ってたよかったです。

他の学校の人や市の観光や活性化などについてのたくさんの提案・質問が聞けて、まちづくり議会を通して関わりも持てたので良かったです。他の人はなかなかできないような経験をさせていただいたので、これからも市政について興味を持ち、考えていければと思います。

白糸中学校 2年 塩見 華音

私は、この中学生まちづくり議会に参加して、最後の議会は参加できなかったもののとても良い経験をさせてもらったと思います。舞鶴と言えど聞かれると、「自然が豊か」や「伝統」などとても素晴らしい魅力ある私たちのふるさと舞鶴です、と答えます。ですが、この機会を通して、もっと深く舞鶴のことを知ろうということで、白糸中学校は“災害”について議論しました。原子力災害や大雨、洪水による災害など遠いようで身近な災害があると気付かされました。こんな状況の時、もしこうなったら、と想像をふくらませると、ここは不十分ではないか、ここはどうすればよいのかなど様々な疑問が出てきました。やっぱり私はまだ、舞鶴のことを知っていなかったと思いました。都合により市長さんの答えは聞けなかったものの、ふるさとをこんなにも知ることができたのは、このような機会があったからだだと思います。前の自分よりも、もっともっと故郷を知れた、そんな議会でした。

白糸中学校 2年 山中 真凜

私は、舞鶴について深く考えたことがありませんでしたが、質問を考えるために、舞鶴のことや現在の状況などについて考えることができました。改めて考えていくと、疑問に思ったことや質問してみたいなど思うことがたくさん出てきました。それを質問文にすることと、聞きたい答えが聞けるような質問を作ることが難しかったです。

自分たちは災害について質問しましたが、他の学校の質問を聞いて、自分の住んでいる地域のことをもっと深く考えられました。

このまちづくり議会に参加して、舞鶴のことについて知ることができましたし、もっと知りたいと思うきっかけになりました。

和田中学校 2年 桑原 美希

私はこの議会で学んだことがあります。

1つ目は、舞鶴の今の状況をしっかり考えることです。私は提案を書く中で、今舞鶴がどういう状況なのかよく調べました。外国人向けのツアーを考える、ということだけでも、ここまで調べたことは今までにありませんでした。

そして2つ目は、提案内容を具体的にすることです。ただツアーを開催するというだけでなく、どのような内容でどのようなことをするのか、というところまで明確にしなければいけません。西舞鶴だけというのではなく、舞鶴全体を知ってもらえるような体験ツアーを考えるのには苦労しました。

私はこの議会で舞鶴について多くのことを調べ、学びました。このことは決して無駄にはならないと思います。この議会に行けて本当に良かったなと思いました。

和田中学校 2年 谷口 楓果

今後、舞鶴をよりよくするためには、舞鶴ならではの古き良き伝統を守りながら、これからの世代の文化を合わせていくことが必要なのだと感じました。

私たちが考えたたくさんのアイデアが、今後の舞鶴の発展にどう影響していくのかが楽しみです。これからもこの議会を続けていくことで、たくさんの素晴らしいアイデアが生まれ、舞鶴はさらに活性化していくと思います。

この議会を通して、舞鶴を発展・活性化させるための提案を考えることは、たくさんの時間がかかり大変でした。これからもゆっくりとたくさんの時間をかけ、私達のまち舞鶴が素晴らしいまちになってほしいです。

和田中学校 2年 戸島 日和

今回、まいづる中学生まちづくり議会に参加して感じたことは、舞鶴には良いところが沢山あり、その反面課題点もあることです。

私は舞鶴に住み始めて3年目となりますが、あまり舞鶴について知りませんでした。ですが、今回の議会で舞鶴の素晴らしいところについて知ることができました。例えば、舞鶴のお茶が全国品評会で5年連続して1位に輝いていること、歴史的建造物が沢山あることです。それから、商店街では空き店舗が増加していて対策が必要になっていることや、自然災害への対策が必要なことも知ることができました。このように他校の人達と考えを交流することで、自身の考えが広がりました。

今回、この議会で学んだことをここで終わらせぬよう、まちの活性化に力を注ぎたいと思いました。このような素晴らしい体験をさせていただきありがとうございました。

城南中学校 2年 坂本 奈々美

今回、まいづる中学生まちづくり議会に参加させていただいて、今までなかなか考えなかった舞鶴の課題や良い所などを考える良い機会となりました。

舞鶴の課題を見つけ、どのようにすれば課題が改善されるかを考えることで、私たちの住んでいる舞鶴を様々な視点から見ることができ、私たち中学生でも出来ることや、普段気付かなかったことに気付くことができました。

私たちが住んでいる舞鶴でも、知らないことは多く、実際に質問・提案をすることで、今取り組まれていることなどを知ることができ、さらに舞鶴に関心を持つてました。

今回考えたことを活かし、今後も舞鶴を見つめ、若い世代の私たちが引っ張っていけるような市になっていけるようにしたいと思います。

城南中学校 2年 中野 彩菜

私は、中学生議会に参加して、舞鶴の魅力を知ることができました。

舞鶴の豊かな自然で育った特産品、それぞれ地域の伝統的な行事、古い歴史を感じるとことのできる歴史的建造物など、特色を改めて知って、舞鶴は誇りを持つてまちだと思いました。

また、中学生議会を通じて、私達中学生が舞鶴の魅力について知ろうとすることが大切だと考えました。私は、参加するまで舞鶴の魅力を知っているつもりでいましたが、参加して調べてみると、多くの発見がありました。なので、若い世代の私達が、舞鶴の魅力を知ることによって、未来へ伝えられるのではないかと思います。

今回はとても良い経験をさせていただいたので、舞鶴に住んでいる事を誇りに思い、生活していこうと思いました。

城南中学校 2年 波多野 悦至

僕は、議会を行う議場に入った時、この場所で舞鶴のことについて色々話し合っているのだと分ると、この場がとても壮大な場所だと思いました。事前学習会では、「舞鶴に今、何が必要なのか」ということを考えさせられ、良い経験となりました。議会では緊張感に包まれ、発表を終えた時に達成感と議会の凄さを改めて感じました。

また、他校の発表を聴いて、初めて知ったことや「確かにそれは大切だと思う」と、共感することもありました。今回の経験を生かして学校生活などを送りたいです。

城北中学校 2年 鱒目 貴公

このような体験をしたのは初めてだったので、とても緊張しました。でも、自分の質問に多々見市長さんが具体的に答えてくれたので、とても嬉しかったです。中学生議会を終えて、今の舞鶴の現状や加佐のお茶の魅力、防災についてのことが詳しく分かりました。

そこで僕が考えたことは、この活動を2年生だけでなく1年生や3年生もしたらいいと思いました。なぜなら、2年生では出なかった意見も1年生と3年生なら出ると思うからです。そして、城北中学校以外の質問を聞いていると「なるほど」という質問が多くて、おもしろかったです。

また、こういう機会があったら参加したいです。

城北中学校 2年 高岸 優進

僕は、舞鶴市について真剣に考えたのは初めてでした。

まいづる中学生まちづくり議会に参加することにより、自分が「こうしたい」と思ったことについて、はっきり言うことができました。今の中学生という立場で僕なりに考えて発表しました。そのことで、舞鶴が良くなるとよいと思います。

僕は、舞鶴の良い所は、自然や働くことができる場所が多いというところだと思います。反対にこれから頑張っていかななくてはいけないことは、自然をうまく利用して、遊べる場所を増やすことだと思います。

僕は、これまで自分の立場だけで考えていたけれど、舞鶴市全体が良くなるようなことを、これからは考えていきたいです。僕は、舞鶴が大好きです。だから、学校でも舞鶴をどのようにすればいいか、友達と考えていきたいです。

城北中学校 2年 村上 幹汰

僕はこの中学生議会に参加して、議員の人々の苦勞が分かりました。何より自分で考えた議題をうまく伝えるために上手に言葉をまとめ、それを言うタイミングがとても難しかったです。議場という普段は見られない所で話すのはとても緊張したし、話している時は「これは本当に正しく言えているのかな。」と、不安も多かったけど、自分の意見をしっかりと市長さんに言えたので、自分の意見を言った後は、とてもほっとしました。

また、事前学習会で選挙の方法など自分の知らなかった情報をたくさん知ることができたので、とてもよかったです。僕は、この議会での経験を生かし、自分のさらなる上を目指して行きたいと思います。

若浦中学校 2年 猪野 晃市郎

まずは、中学生議会での一番の思い出をあげます。それは、最優秀提案賞をとったことです。これについては、眞下さんと小川さんと3人でとったのですが、情報発信というテーマの発案者は僕なので、すごく最優秀だったのが嬉しかったです。また、僕が考えたテーマに沿って2人がすごく良い内容で、質問書を書いてくれたことも嬉しかったです。

このテーマは、市長さんの市長講話があることから思いつきました。市長さん自ら中学生に舞鶴について伝えなくてはいけないほど、舞鶴の情報が市内にすら伝わっていないと感じたからです。その思いを言葉にして伝えることができたと思います。

今回のようにたくさんの方が集まると、様々な視点からの意見を取り入れることができると思います。ですから、このような場を作り続けると良いと思います。

普段は話さない2人と話し、協力し、意見を言えた今回の議会は、すごく楽しかったです。

若浦中学校 2年 小川 真未

中学生議会に参加させていただいて、私は舞鶴について改めて分かったことがあります。それは、「舞鶴のことすべてが市内の住民たちに知られていない」ということです。事前学習会での各校区の活動の中でも、私が知らなかった情報についての意見が出たり、議会でも自分とはまた違った目線からの意見が出たりして、自分自身が舞鶴について学ぶことができました。

嬉しいことに私たち若浦中学校は『最優秀提案賞』を手にすることができましたが、正直、他の学校の皆さんの意見の方が良かったのではないかと思っていたので、本当に驚きました。これは大切に家で保管しておきます。

このような場を設けていただきありがとうございました。

若浦中学校 2年 眞下 葵

今まで、学校やクラスの中で舞鶴について話し合ったことはありませんでした。しかし、事前学習会の時に、グループ内でそれぞれの意見や友達の舞鶴に対する思いや考えを知ることができました。舞鶴に生まれ、舞鶴しか知らない私にとって、舞鶴のことを深く考える良いきっかけになったと思います。

議会では、私たちの質問に対し、市長さんから丁寧に回答をいただき、とても嬉しかったです。市長さんに市政に役立てたいと言っていたときは、とても感動しました。

私は、舞鶴が大好きです。舞鶴のいい所をたくさんの人に知ってもらうことは大切ですが、まずは住んでいる私たちが、もっと舞鶴のことを知り、好きになることが大切だと感じました。中学生の私たちにも、舞鶴のために何かできるのではないかと、今は思います。

今回は、とても貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

加佐中学校 2年 佐藤 夏音

中学生議員として、今の舞鶴の良さや問題点について考える良い機会となりました。私が思っていた以上に舞鶴の良さがたくさんありました。しかし、その良さを生かし切れていないなど課題点もあり、より詳しく学びました。

より良いまちにするためには、いろいろな視点から考えなくてはならないので、より良いまちづくりは難しいことだなと感じました。また、私が知らなかっただけで、舞鶴市でもたくさんの取組をしたり、工夫があったりすることに気付くきっかけになりました。

情報、魅力を発信することも市の活性化につながると思うので、私たちの提案が舞鶴市の活性化につながると嬉しいです。また、防災対策をしたり商店街を活性化させたりすることで、もっと舞鶴が良くなっていくと思います。

加佐中学校 2年 藤本 悠大

先日はお世話になりました。

中学生議会を経験して、議会とはどういうことをしているのか、どのような場所で行っているのかが分かりました。ですが、ぼくはあまり言いたいことが言えなかったのが残念でした。

加佐はとても自然豊かですが、動物がいっぱい出てくるし、仕事場まで遠かったり、ぼくたちの遊べる所がなかったりします。自然で遊べると言っても、小学校の時には川や山で遊ぶのは危ないと言われていました。そのようなことは、どうしていけばよいか考えていきたいです。

このような機会をいただき、ありがとうございました。

加佐中学校 2年 眞下 陸仁

僕はこの中学生議会に参加して感じたことが、3つあります。

1つ目は、自分たちの地域の良さです。加佐というと小さくてあんまりいい物がないなあと思っていたけど、加佐はお茶が全国で1位だったり、万願寺甘とうがブランド化されていたり、中学生議会を通して気付けたのがよかったです。

2つ目は、議場に入ったことです。議場というのはあることも知らなくて、広く感じて、発表の時もすごくきれいにできてよく発表ができました。

3つ目は、他の学校の人たちと知り合えたことです。正直、城北とか青葉とか知らなかったけど、話しているとおもしろい人がいて、とても楽しかったです。

取組の記録

(事前学習会・本会議)

まいづる中学生まちづくり議会の開催経過

事前学習会（第1回）	
日 時	平成29年7月30日（日）13:30~16:00
場 所	舞鶴市役所 中会議室（別館5階）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 議員任命 ● 選挙制度や議会のしくみ制度の学習（議場見学） ● 学校ごとに質問テーマと質問内容の相談・決定 ● 次回学習会までに質問文の作成（原稿用紙1枚分）

事前学習会（第2回）	
日 時	平成29年8月5日（土）13:30~16:00
場 所	舞鶴市役所 中会議室（別館5階）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校ごとに質問文の調整と修正を行い提出 ● 質問する学校の順番の決定

本会議		
日 時	平成29年8月27日（日）9:00~11:30	
場 所	舞鶴市議会議場（本館4階）	
内 容	8:45	集合
	9:00~	リハーサル
	9:30~	控え室で休憩・練習
	10:00~	開会 市長・議長あいさつ
	10:10~	中学生議員が質問、市長が答弁
	11:20	閉会 教育長あいさつ
	11:25	記念写真
	11:30	終了

まいづる中学生 まちづくり議会の様子

舞鶴市議会議場

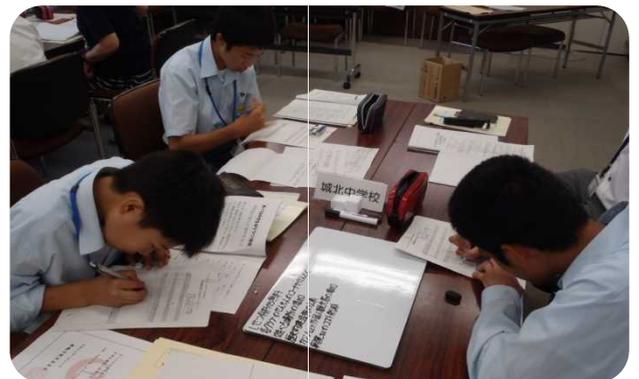
平成29年8月27日(日)



第1回事前学習会の様子

舞鶴市役所 中会議室

平成29年7月30日(日)



理由

- 10 空や店舗が少なくなることで、活気がつき、舞鶴が盛んな町へなると思ふ。
- 20 活気づくことにより、地域の人の関わりが増え、住みやすい町へ。
- 30 交通機関も整え、西、東の行き来もよやす。

☆ スーパーに頼りすぎた。経営が難しくなり、仕事を失う人が出てくる。店の種類が減少し、買いたい物が買えなくなる。⇒ 活気がなくなる。

☆ 若年層との関わりがへる。年代層が薄い。

☆ 交通機関の通っていない地域がある。商店街から遠い人が行くことができない。

第2回事前学習会の様子

舞鶴市役所 中会議室

平成29年8月5日(土)

